

## 【総領事館からのお知らせ:安全対策情報:4月】

平成24年4月13日(総12第13号)  
在デンパサール日本国総領事館

### 1 治安情勢

3月18日夜、バリ島のデンパサール市西部の Gunung Sopotan 通り及びサヌール地区の Danau Poso 通りの二カ所において、インドネシア国家警察対テロ部隊(DENSUS88)が一部銃撃戦の末、テロリスト容疑者5名を射殺しました。射殺された5名の中には、メダンのCIMBニアガ銀行強盗事件の指名手配者も含まれており、バリ島においてテロ行為及び外貨両替所や宝石店等への強盗を行うことを計画し、そのためすでに何カ所かの下見を行っていた由です。同グループの2名は依然逃亡中です。

### 2 一般情勢

- (1)3月21日、デンパサール市内中心部(ウダヤナ大学近くの Serma Made 通り)においてクタのBCA銀行から引き出した預金者の現金9千5百万ルピアがオートバイ 2 台に分乗した 4 名によって強奪されました。
- (2)3月26日、インドネシア保健省は、西ヌサ・トゥンガラ州ロンボク島において、鳥インフルエンザ(H5N1)陽性例(17歳男性。9日死亡)が確認された旨公表しました。同人は近所で死んだ家禽に接触した可能性があります(インドネシアでのこれまでの累計患者数は188例、うち156例が死亡。本年の患者数は5例目(すべて死亡))。鳥インフルエンザ予防対策等については在インドネシア大使館ホームページ[www.id.emb-japan.go.jp/flu.html](http://www.id.emb-japan.go.jp/flu.html)をご覧ください。
- (3)3月26日から28日にかけて、全国規模の石油燃料値上げ反対デモに触発されて、バリ島においても学生等による反対デモが州知事庁舎前、州議会議場前、ウダヤナ大学前で実施されたが、治安部隊との衝突などの大きな混乱は見られませんでした。
- (4)3月下旬、バリ島ジュンブラナ県及びバドゥン県で鶏数十羽が急死する事案が散見され、当局は鳥インフルエンザ蔓延への警戒を呼びかけています。また、4月10日、ジュンブラナ県ギリマヌック港検疫所は、東ジャワ州から輸送された鶏に鳥インフルエンザ(H5N1型)検査で陽性反応が出たため、同鶏数百羽を焼却処分しました。
- (5)デング熱は依然として多数発生が見られ蚊への注意が必要です。また、Tomcat(アオバアリガタハネカクシ)と呼ばれる虫による被害が発生しています。刺すことはありませんが体液に毒があり、触れると赤くはれ、水ぶくれ、痛み、かゆみ等の症状が出ます。この虫が体に付いた際には叩いて潰さず、優しく払いのけることが重要です。目に入ると失明することもあります。もし体液に触れた場合にはよく石鹸で洗って下さい。皮膚炎を起こした場合には医療機関での治療をお勧めします。(体長5~7ミリ。頭、胴体、尾は黒でそのほかは茶色。水田等に多く生息。夜は灯火に飛んでくることがあります。)

### 3 邦人事故・事件関連

- (1)4月2日、ジンバラン在住の邦人が地酒を飲んでサンラ病院に搬送され死亡する事案がありました。病院によれば、アルコール多量摂取と心筋梗塞と思われる由です。
- (2)邦人に対する振り込め詐欺事案について、銀行員を装った第三者を仲介する手口が発生しています。相手に指示されるままにATMを操作して振り込みをしてしまうことのないように十分に注意して下さい。

以上